

# 70年余りの伝統を守り発展させよう

## 長工野球部OB会が発足



40人が参加した結成総会

### 会長に藤川彰二氏を選出 活動にご協力下さい

4月25日(日)午後4時から長崎市のセントラル長崎で長崎工業高等学校野球部OB会結成総会及び懇親会が行われた。当日は戦後創部初期のOBから卒業間もないOBまで総勢40人が参加した。結成総会では冒頭議長に鶴留和彦氏(昭和60年卒)を選出し、全員で黙祷をして、物故会員の冥

\*\*\*\*\*  
 長工  
 \*\*\*\*\*  
 OB会  
 \*\*\*\*\*  
 ニュ  
 \*\*\*\*\*  
 ース  
 \*\*\*\*\*  
 発行  
 長崎工業高校  
 野球部OB会  
 長崎市琴海大平町1814-56  
 電話 095(886)3883  
 Eメール  
 neckykayaks@taupe.plala.or.jp  
 発行人 藤川彰二



今後の活動や会則などを検討した総会議事

福を祈った。次に、この間準備に携わった準備会代表世話人の小宮 巧氏(昭和53年卒)が「OB会の目的は現役生徒をサポートし、母校野球部を発展させ、OB間の親睦を図ること」とあいさつし、総会議事を行った。はじめに、小宮代表世話人が今年1月以降世話人会を計4回世話人会を行い、名簿の整理、結成総会案内はがきの発送などの準備を行ったことを報告した。その後、役員

の提案が行われ、780人余りのOBをまとめていく会長には藤川彰二氏(昭和48年卒)が選出され、15人の役員が拍手で承認された(役員名簿は別掲)。藤川会長は「歴史ある長工野球部のOB会が1つになり、生徒を支え、野球部を発展させることに全力で取り組んでいきたい。甲子園出場こそ成し遂げたい。次に、この強豪校としての歴史を積み重ねてきた。OBも一丸となつていっしょに甲子園出場を果たしたい」と決意を述べました。さらに、中川隆一(副会長(昭和61年卒))が会則の提案を行い、拍手で了承された(会則は別掲)。



抱負を語る藤川会長

### OBの皆さんへのお願い

- ①事務局に現住所等をお知らせ下さい  
同封の「連絡票」を郵便又はメール等でご返送下さい。また、ホームページからも手続きが可能です。
  - ②OB会が発足したことを知らないOBにホームページなどをご紹介下さい
  - ③年会費の納入をお願いします  
1口3,000円です。但し、上限はありません。何口でも可能です。初年度で財政的に厳しいことが予想されます。後輩のために有効に活用させていただきます。
- (送金先) 十八銀行北支店 普通 1012037  
長崎工業高校野球部OB会
- ③ホームページを定期的にご覧下さい  
<http://hkbc.alt-nagasaki.jp> にアクセスして下さい (但し、開設は6月下旬予定)

あげたい。様々繋がりをもちに会員の所在の把握のために協力をお願いしたい」と答弁があり、さらに、会費の納入がまだ十分でなく、協力が呼びかけられた。また、ホームページの開設を計画していることからその概要が紹介された(別掲)。最後に、藤川会長が「会則で名誉会員の規定を設けているが今後理事会で検討し、次回総会に提案したい」と述べた。次に、濱村良美元監督(現野母崎高校野球部監督)が来賓として出席され、「私は最初の赴任が工

業で15年間学んだ。気持ちはいつても工業の卒業生と想っている」と話され、OB会のスタートに對し、祝辞を述べられた。また、田口和雄元監督、尾藤万吉・岩下藤雄元部長にもご出席をお願いしたが、体調不良等で欠席となった。尾藤元部長からはメッセージが寄せられ、工業が甲子園出場まであと一歩だった当時のエピソードが紹介された。OBを代表して、高瀬助松氏(昭和24年卒)、仙台市から駆け付けた長濱文男氏(昭和45年卒)が在校生の思い出や母校への熱い思いが語られた。続いて、北村昭彦監督(昭和51年卒)が野球部の現況を報告し、現場へのさらなる支援をお願いした。最後に、皆で校歌を斉唱し、来年の再会を誓い閉会した。



懇親会に会話も弾んだ

# 長崎工業高校野球部OB会会則

## 第1章 名 称

第1条 本会は「県立長崎工業高等学校野球部OB会」と称し、連絡先を長崎市内におく。

## 第2章 目的と事業

第2条 本会は県立長崎工業高等学校野球部(以下野球部と略)の活動をサポートし、会員同士の親睦を図る。また、学校関係者及び父兄会、地域等と協力しながら野球部の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会は前条の目的達成のために次掲げる活動及び事業を行う。

1、野球部に対する経

済的なサポート

2、会員相互の親睦に寄与する事業

3、会員に対する広報活動

4、その他目的達成のために必要な事業

## 第3章 会 員

第4条 県立長崎工業高等学校野球部に在籍し、同校を卒業した者を会員とする。

第5条 会員は会費を納入すること。

第6条 会員は総会等を通じて自由に意見することが出来る。

## 第4章 役員・顧問及び事務局

第7条 本会に次の役員をおく。

1、会長 1名

2、副会長 若干名

3、理事 若干名

4、監査役 2名

5、事務局長 1名

6、会 計 1名

第8条 本会の役員は次のとおり選出する。

1、総会において選出する。任期は2年とし、但し、再任をさまたげない。

2、立候補する会員は自薦及び他薦を問わない。但し、推薦の場合は本人の承諾を必要とする。

3、立候補する者は総会に出席し立候補を表明するか、若しくは総会ま

でに文書で理事会に申し出る。

4、役員は補充は理事会で行うことができる。但し、次期総会に報告し承認を得る必要がある。

第9条 会長は本会を代表し、会務全般の運営を行う。

第10条 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。

第11条 理事は常時会務の執行にあたる。

第12条 監査役は本会の資産、会計及び会務を監査する。

第13条 事務局長は活動及び事業を行うための実務の責任を担い、理事会は事務局長の下に事務局をサポートする者を置くことができる。

第14条 会計は会の收支管理を行う。

第15条 本会に名誉会員をおくことができる。但し、総会の承認を得るものとする。

## 第5章 会 議

第16条 本会に次の会議をおく。

1、総 会

2、理事会

第17条 会員の資格を有するものが野球部の監督及び顧問を務める場合は役員になることとはでない。

第18条 総会は本会の最高議決機関であり、議決は出席の多数決によるが、可否同数のときは議長が決める。

第19条 総会の議長は理事会が指名する。

第20条 定期総会は毎年1回開催する。定期総

会では次の事項について審議する。

1、活動報告

2、活動方針

3、決算及び予算

4、役員選出

5、会則の変更

第21条 総会は理事会が必要と認められた時、あるいは会員の5分の1以上の要求がある時は、会長はすみやかに臨時総会を開催しなければならない。

第22条 理事会は本会の評議機関であり、第7条に規定する役員で構成し、会務を執行する。会議は年2回以上開き、その他必要な時は会長が臨時にこれを招集することができる。また、会長はオブザーバーとして会員やその他必要と認める者を招集することもできる。

## 第6章 会 計

第23条 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもつてこれにあてる。

第24条 本会の年会費は3000円以上とする。但し、口数の上限は設けない。

第25条 本会の財産は理事会が管理する。

第26条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 付 則

1、本会の会則の改正は総会において出席者の3分の2以上の賛成を要する。

## 役員名簿

会 長	藤川 彰二 (ふじかわ しょうじ)	昭和 48 年
副 会 長	林田 群二 (はやしだ ぐんじ)	昭和 45 年
	八重石勝幸 (やえいし かつゆき)	昭和 49 年
	中川 隆一 (なかがわ りゅういち)	昭和 61 年
理 事	早川 雅也 (はやかわ まさや)	昭和 54 年
	嶋田 邦廣 (しまだ くにひろ)	昭和 62 年
	田口 満 (たぐち みつる)	昭和 63 年
	川上 栄建 (かわかみ えいゆき)	平成 元年
	松下 鉄也 (まつした てつや)	平成 4 年
	渡邊 潤 (わたなべ じゅん)	平成 8 年
	末永 康一 (すえなが こういち)	平成 14 年
事務局長	鶴留 和彦 (つるどめ かずひこ)	昭和 60 年
会 計	小宮 巧 (こみや たくみ)	昭和 53 年
監 査 役	木島 英利 (きしま ひでとし)	昭和 50 年
	山口 博光 (やまぐち ひろみつ)	昭和 53 年

## 長崎県立長崎工業高等学校 校歌

- 文化の潮 いち早き  
ゆかしき港 長崎の  
聖地の丘に 蛍雪の  
三年の春を讃ふなり
- 科学の叡智 眼に澄みて  
鎚音高き 工業の  
われらが腕 万象を  
輝く幸福に変ふるなり
- 光よ風よ 大空よ  
大地をふみて 我が立てば  
溶炉にたぎる 情熱に  
世は栄えゆく 誇りあり  
世は栄えゆく 誇りあり



グラウンドと学校の風景



## 【お知らせ】

甲子園予選は6月25日が抽選、7月10日開幕です。先だって、7月3日にはOB会主催の激励会を行います。組み合わせが決まりましたらOB会ホームページに掲載予定です。球場で皆さんとお会いできることを楽しみにしております。また、週末など時間がある時はグラウンドに立ち寄ってみませんか。きっと懐かしさと元気が湧いてくるはずですよ。